

行政情報

健康ながはま21(第3期)

適切な医療機関の受診とかかりつけ医等について

健康推進課 (☎65-7779)

9月9日は「救急の日」

適切な医療機関受診を心がけましょう

「長浜米原休日急患診療所」をご存知ですか

内科も受診できます！

休日に具合が悪くなったとき、軽症の人は休日急患診療所をご利用ください。そうすることで病院の救急外来は本来の役割を果たすことができます。

●長浜米原休日急患診療所

【診療日】 日曜・祝日・年末年始 【診療科】 内科・小児科

【受付】 8時30分～11時30分 12時30分～17時30分

【場所】 湖北医療サポートセンター
「メディサポ」内(宮司町1181-2)
(☎65-1525)

※受診時は、保険証、お薬手帳をお持ちください。

「かかりつけ医・歯科医・薬局」をお持ちですか

「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」は、日ごろから患者の状態をよく分かっていますので、日常的な診療の他にも健康相談や指導も含めいろいろな問題について気軽に相談できます。また、「かかりつけ薬局」は薬の服用の記録を確認してもらえ、医薬品による治療がより有効で安全になります。

子どもの休日・夜間の急病やけがの際の対応(%)

出典：健康ながはま21に関するアンケート(H25)

- ◆小児電話相談（平日・土曜日：18時～翌朝8時、日曜・祝日：9時～翌朝8時）
「#8000」または「077-524-7856」に電話してください。

◆こどもの救急ホームページ(<http://www.kodomo-qq.jp/>)
夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうかの判断の目安を提供しています。

◆いのちに関わる症状と判断した場合は、迷わず119番通報を！

行政情報	市政の動き (7月16日～8月15日) 市役所内で「どのような会議」が開催され、「どのような結果」になったかを概略でお知らせします。詳しくは市ホームページまで。
会議名など	内 容
7月22日(火) 長浜市住生活基本計画策定委員会 担当課：建築住宅課(☎65-6533)	長浜市住生活基本計画の素案について意見交換を行い、一部追加・修正のうえ、引き続き検討することになりました。
7月29日(火) 平成26・27年度第4回長浜市図書館協議会 担当課：図書館運営室〈長浜図書館〉(☎63-2122)	長浜市図書館基本計画の策定に向けて、図書館サービス網および管理運営計画について協議しました。
8月7日(木) 長浜市定住自立圏共生ビジョン懇談会 担当課：企画政策課(☎65-6505)	定住自立圏構想の概要や少子化対策の取組みに関する事務局からの説明を受け、若者の定住に向けた少子化・子育て支援策について意見交換を行いました。
8月8日(金) 第4回長浜市指定管理者選定委員会(第2委員会) 担当課：行政経営改革室(☎65-6702)	指定管理者候補について申請団体の審査を行った結果、次の団体を指定管理者候補として適当と判断しました。 【浅井東診療所】(医)若草ファミリークリニック 【西浅井地区診療所】(公社)地域医療振興協会

市長コラム⑤1

至誠通天

藤井 勇治

※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること

富田人形体験留学生を長浜国際観光サポーターに委嘱

富田町に伝わる県選択無形民俗文化財の人形浄瑠璃「富田人形」は、180年の歴史を持ち、地域の伝統芸能として守り継がれています。

富田人形の歴史は江戸時代まで遡り、阿波国から北陸巡業に來た人形一座が大雪により興行が成り立たなくなり、旅費の代わりに人形のかしらや衣装、道具をこの地域に残して引きあげたそうです。その人形を使って村人たちが稽古を始めたのが起源と伝わります。

現在の担い手は「富田人形共遊団」の皆さんで、本拠地は富田人形会館です。平成3年に完成し、専用の舞台を備え、人形や芝居道具などが保管されています。この伝統的な芝居小屋風の会館で、地元の皆さんの手により継承され、海外からの留学生がそれを学びに来ているというのですから驚きです。

「富田人形」は地元での定期公演を始め、なんとニューヨークやドイツ、北米各州など海外でも演じられたこともあり、いつも大好評だったそうです。

今年の留学生は、アメリカやイギリス、イタリアから8人が来日し、6月からの2か月間、市内でホームステイをしながら富田人形を学びました。人形遣いや浄瑠璃の語り、三味線の演奏など厳しい稽古を積み重ね、見事にマスター。

長浜文芸会館での夏公演では満場の拍手喝采を浴び、私も客席から心からの声援を送り続けました。

この8人の留学生は本当に明るく素直、そして日本語が上手でユーモアたっぷりの青年です。しかも、長浜が大好きで、味噌汁やふな寿司、漬物、回転寿司、スイカなどが大好物。

そこで、私は長浜市の魅力を世界に発信する「長浜国際観光サポーター」に彼らを委嘱しました。帰国後にそれぞれの国で、長浜の美しい自然や文化、芸術をPRしていただけるものと期待しています。こうした留学生を指導しながら富田人形を継承している富田人形共遊団の皆さん、受け入れてくださったホストファミリーの皆さんに心から感謝します。

▲市の魅力をPRするサポーターとかたい握手

市立病院通信 -40-

お元気ですか

このコーナーでは、市立長浜病院のスタッフの紹介を兼ねて、「普段の生活での予防法」など生活に役立つ“健康豆知識”を紹介します。

がん診療と放射線診断医について

市立長浜病院は、湖北地域のがん診療連携拠点病院に指定されており、「放射線診断医」という専門の医師が働いています。今回は、がん診療での放射線診断医の仕事について紹介します。

「放射線科医」は放射線診断医と放射線治療医に分けられます。放射線治療医はがん患者さんに対して放射線を照射し、がんの治療を行っています。放射線診断医は、当院では3人が常勤として勤務しており、画像診断、IVRなどを行っています。

市立長浜病院

放射線科(診断部門)

責任部長 若宮 誠

画像診断では、放射線診断医が、CT、MRI、核医学検査などで撮影された患者さんの画像を診断し、診断レポートを作成して主治医に報告しています。また、IVRとはインターベンショナル・ラジオロジー(Interventional radiology)の略で、画像診断技術を用いた、患者さんの身体にあたる負担が少ない治療方法のことです。

当院ではIVR専門医が1人常勤として勤務しています。がん診療ではカテーテルといわれる細い管を血管の中に入れてがんの近くまで進め、がん栄養や酸素を送る血管に対し抗がん剤を流したり、血管を塞栓物質というもので塞いだりすることでがんの治療をしています。また、がん患者さんの抗がん剤治療でも重要な役割を担う中心静脈ポートといわれるカテーテルの埋め込み術も行っています。

17 広報ながはま 2014年9月

広報ながはま 2014年9月 16